

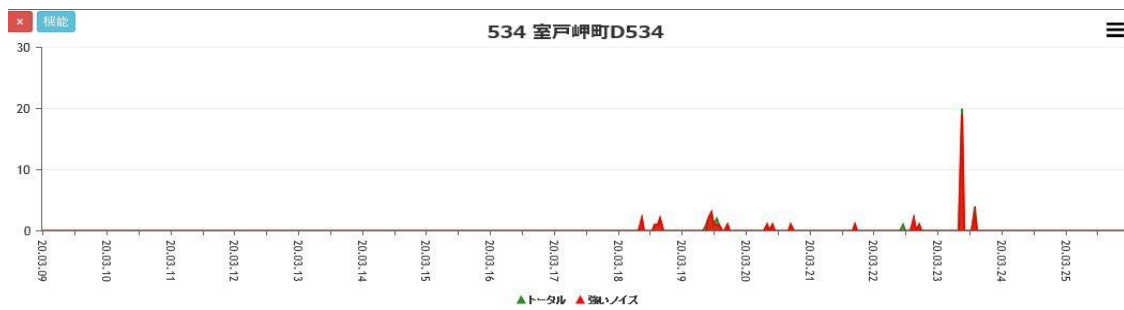
## 200324 徳島県北部 M2.1 について

2020,3,24 株式会社新興技術研究所

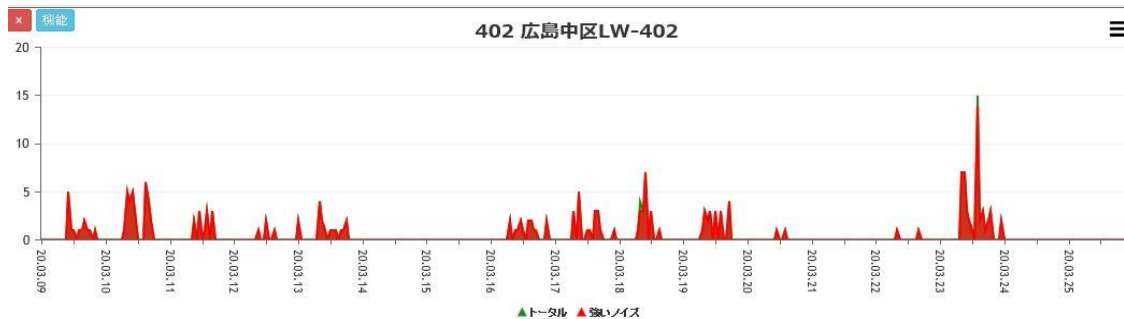
逆ラジオ地震予知グローバルセンター “ゆれくるん”

高知県室戸市の2か所の観測点の15日データ

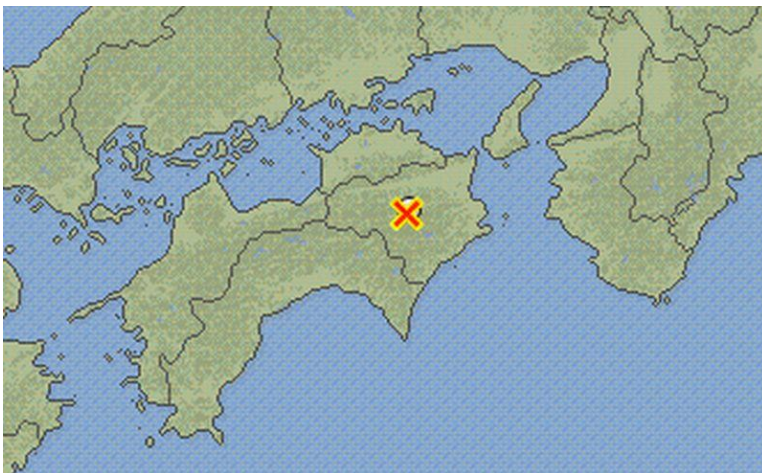
>3月23日深夜にほぼ同期した1本立ちデータが出た。



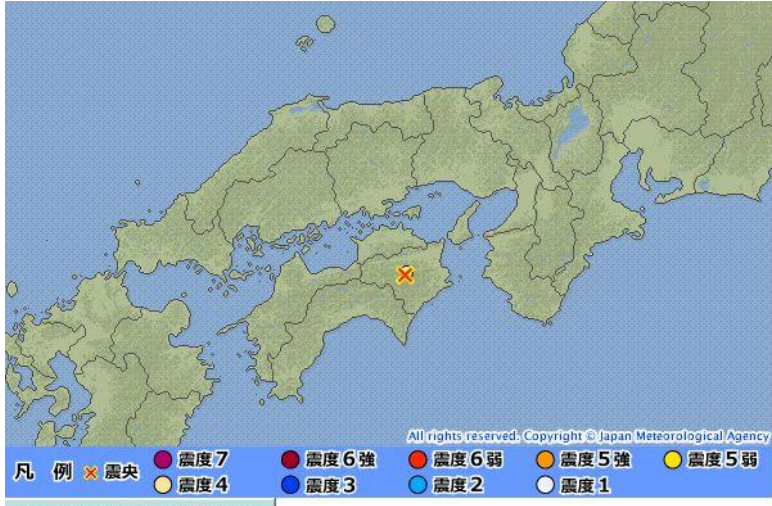
広島市中区の15日データ>同じく3月23日深夜に室戸と同期して1本立ちが出た



地震発生01>3月24日AM4時24分 徳島県北部 M2.1



地震発生 02>3月24日 AM4時24分 徳島県北部 M2.1



この地震の各地域・市町村の震度

各地の震度に関する情報  
 令和 2年 3月24日04時28分 気象庁発表

24日04時24分ころ、地震がありました。  
 震源地は、徳島県北部（北緯33.9度、東経134.2度）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は2.1と推定されます。

<3か所の異常データと発震のタイミングについて>



### 3か所の観測点の位置関係



考察；

最近あたらしく高知県室戸市のジオパークに観測装置を設置して頂き、室戸市内浮津の観測点と2台になった。この室戸の2か所の観測点に 3月23日の深夜に、データは小さいが同期して1本立ちの異常データが出た。

また少し離れた広島市中区のLW-402の観測点にも同じような同期した1本立ちの異常データが出た。この広島市中区のLW-402の観測点は 通常の観測点と違い、長波帯でのパルスノイズを観測している。

上記3か所の観測点で小さいが異常なデータが 3月23日の深夜に同期して出ていたが数時間後の3月24日AM4時24分に 徳島県北部 M2.1の地震が発生した。

通常、M2クラスのような小さい地震は多発しており また上記3か所の観測点での異常なデータも大変小さいものなので、データと地震の関係も 疑似相関になりやすいので共に無視してしまうものである。

しかし今回は高知県室戸の2か所のデータが同期していたことと、M2クラスの小さい地震であっても徳島県北部の震源はめずらしいものであり また高知県室戸の2か所の同期したデータが出てから数時間後の発震であったことから 一応記録してみた。

震源の徳島県は高知県の隣であるが地図上で位置関係を見ても大変近いことがわかる。

また広島市中区のLW-402の観測点にも同じような同期した1本立ちの異常データが出たが この広島市中区は震源から遠いように思えるがLW-402の観測点は 通常の観測点と違い、長波帯でのパルスノイズを観測しており長波帯の場合、通常の中波帯の観測装置より遠方のデータも捉えられる可能性があると考えられる。